

地域の労働者と青年の結集をめざす

横三労連新聞 第146号



2018年11月13日発行

docomo

au/ソフトバンク

<http://www.yokosan.info/index.htm> e-mail: yv2t-tnk@asahi-net.or.jp

238-0006 横須賀市日の出町2-9 046-823-0210 (内線433)



合同労組の労働相談 その後

横須賀の老舗ベーカリーの争議では、11/10に経理担当のI氏から電話がありました。組合からの通告書では、この日までに連絡がなければ、次の段階に進む事に触れていました。

I氏は、「先生(弁護士 or 社労士?)の日程がまだ決まらない」というので、「私たちは、是非話し合いをしたいので、ご連絡を待ちます」と伝えました。

津久井の配管工解雇では、井坂市議によると、生活保護がとれたそうです。しかし会社は、いまだに離職票を発行しません。会社はハローワークに、自己都合退職で届けているそうです。今後労働審判の相談を進めるそうなので、本人に闘う意思があれば、組合も協力する旨伝えました。

定期大会に、53人参加!

10/30(火)、県合庁5階会議室で、横三労連第29回定期大会が開催され、代議員33名をはじめとする53名が参加しました。

来賓として、神奈川労連の神田事務局次長、県の労働センター、民商の富塚会長、井坂市議からご挨拶をいただきました。尚、横須賀原水協の長野事務局長は喘息で来れなくなり、井坂市議は遅れて参加されました。

討論では、伯山オブ幹事より、地域労働学校に18名が参加した取り組みが紹介され、土建の臺野代議員からは

消費税署名とアスベスト訴訟の取組み、年金者の長嶋代議員からは年金裁判へのワンコインカンパの訴え、合同労組の大嶋代議員からは労働相談の取組み、うわまち病院の阿部代議員からはナースエイド常勤化の取組み、三浦市職労の松本代議員からはみうらピースデーの取組みと組織拡大の取組み、みなみの秋本幹事からは、春闘・秋闘・スポーツデーの取組みの報告がありました。また、健康まつりでの土建の包丁研ぎについて、複数の発言があり、交流ができました。

学習協、秋のバスツアー盛況でした!

恒例の、学習協秋のバスツアー。いわさきちひろ生誕100年にちなみ、安曇野のいわさきちひろ美術館に行きたいという希望もありましたが、自治体学校があり一泊はできず、東京に日帰りになりました。私はちひろ美術館は、37年前に行ってから3回目の訪問です。午前中は、江戸東京たてもの園で、2.26事件を学びつつ武蔵野の秋の樹林を楽しみ、午後から、いわさきちひろ美術館でちひろの絵を満喫しました。昼に食べた車エビの天ぷらそばも絶品でした。



発言する三浦市職労・松本代議